

平成27年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

文部科学省は、平成20年度から、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的とし、小学校5年生、中学校2年生を対象にし、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施しています。平成25年度からは、悉皆調査として実施し、網走市でも全ての学校で調査を行いました。

網走市教育委員会では、児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てることはもちろんのこと、保護者や市民の皆様にも子どもたちの健康や体力に関心をお持ちいただき、子どもの体力向上に向けてご協力いただくため、調査結果の概要及び分析結果を公表いたします。

1. 調査の概要

1. 調査の目的

- 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各国公私立学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査の実施時期 平成27年4月から7月末までの期間で実施

3. 調査の対象学校と対象学年の児童生徒数【悉皆調査】

小学校 9校	網走小学校、中央小学校、西小学校、南小学校、潮見小学校、東小学校、白鳥台小学校、西が丘小学校、呼人小学校
中学校 6校	第一中学校、第二中学校、第三中学校、第四中学校、第五中学校、呼人中学校
児童生徒数	小学校第5学年 男子163名 女子142名 合計305名 中学校第2学年 男子164名 女子165名 合計329名

4. 調査の内容

(1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）

小学校調査 [8種目]	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
中学校調査 [8種目]	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択～網走では全ての学校で20mシャトルランを選択）

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

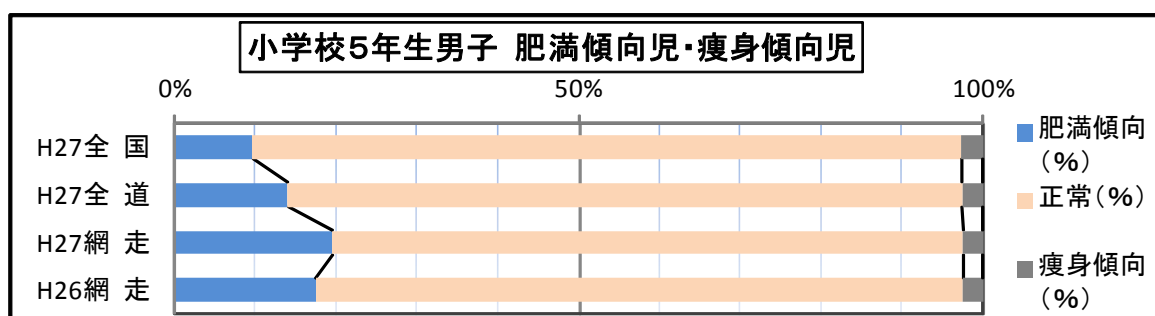
- (2) 子どもの体力向上に係る取組等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

2. 結果の概要

(1) 体格に関する調査

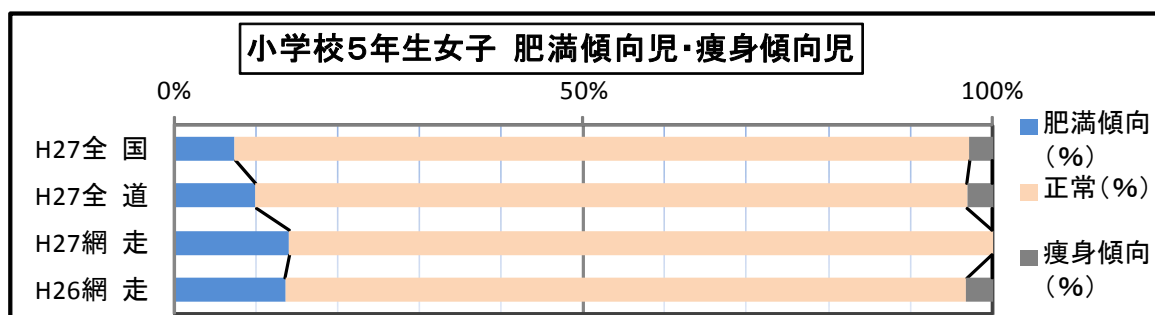
① 小学校5年生男子

	体 格		肥満傾向児・痩身傾向児		
	身長(cm)	体重(kg)	肥満傾向(%)	正常(%)	痩身傾向(%)
H27全 国	138.83	33.94	9.7%	87.6%	2.7%
H27全 道	139.50	35.36	14.0%	83.4%	2.6%
H27網 走	139.76	36.76	19.6%	77.9%	2.5%
H26網 走	139.28	35.79	17.5%	80.0%	2.5%



② 小学校5年生女子

	体 格		肥満傾向児・痩身傾向児		
	身長(cm)	体重(kg)	肥満傾向(%)	正常(%)	痩身傾向(%)
H27全 国	140.01	33.83	7.4%	89.8%	2.8%
H27全 道	140.79	34.87	10.0%	86.9%	3.1%
H27網 走	140.17	35.41	14.1%	85.9%	0.0%
H26網 走	140.84	36.29	13.6%	83.1%	3.2%



【小学校5年生男子】

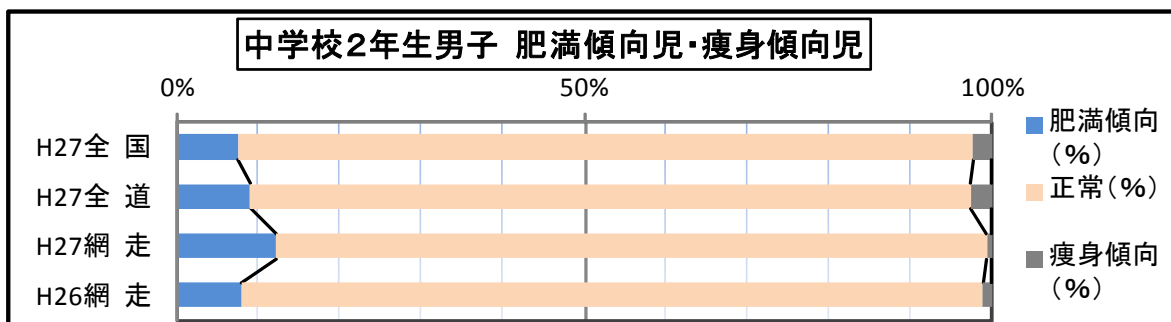
- 身長 全国平均を0.93cm上回っている。
- 体重 全国平均を2.82kg上回っている。
- 肥満傾向児の割合 全国を9.9P上回っている。

【小学校5年生女子】

- 身長 全国平均を0.16cm上回っている。
- 体重 全国平均を1.58kg上回っている。
- 肥満傾向児の割合 全国を6.7P上回っている。

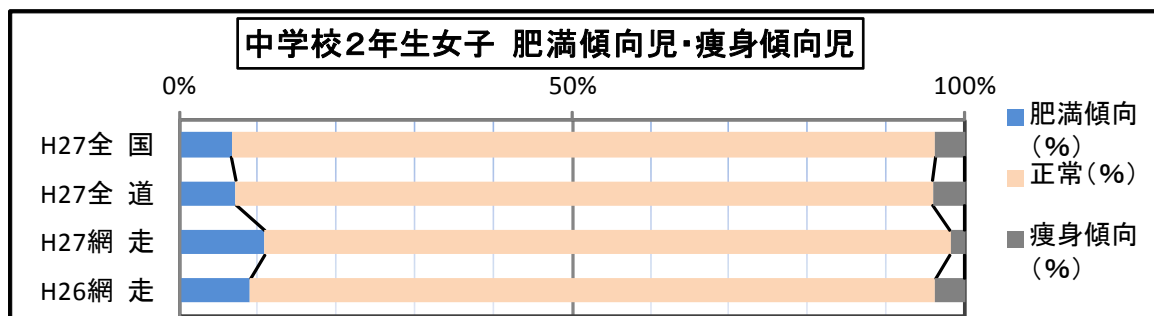
③ 中学校2年生男子

	体 格		肥満傾向児・痩身傾向児		
	身長(cm)	体重(kg)	肥満傾向(%)	正常(%)	痩身傾向(%)
H27全 国	159.73	48.47	7.5%	90.2%	2.3%
H27全 道	161.15	50.04	9.0%	88.4%	2.6%
H27網 走	161.38	52.29	12.2%	87.2%	0.6%
H26網 走	159.85	49.80	7.9%	91.0%	1.1%



④ 中学校2年生女子

	体 格		肥満傾向児・痩身傾向児		
	身長(cm)	体重(kg)	肥満傾向(%)	正常(%)	痩身傾向(%)
H27全 国	154.83	46.75	6.7%	89.5%	3.8%
H27全 道	155.26	46.95	7.2%	88.7%	4.1%
H27網 走	155.09	48.43	10.9%	87.3%	1.8%
H26網 走	154.45	47.58	9.0%	87.2%	3.8%



【中学校2年生男子】

- 身長 全国平均を 1.65cm 上回っている。
- 体重 全国平均を 3.82 kg上回っている。
- 肥満傾向児の割合 全国を 4.7P上回っている。

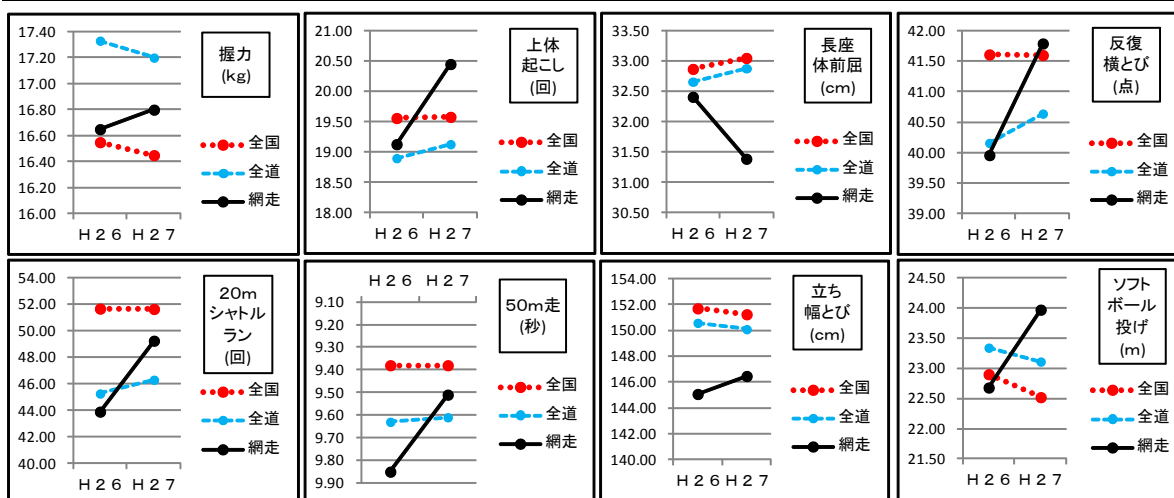
【中学校2年生女子】

- 身長 全国平均を 0.26cm 上回っている。
- 体重 全国平均を 1.68 kg上回っている。
- 肥満傾向児の割合 全国を 4.2P上回っている。

(2) 実技に関する調査

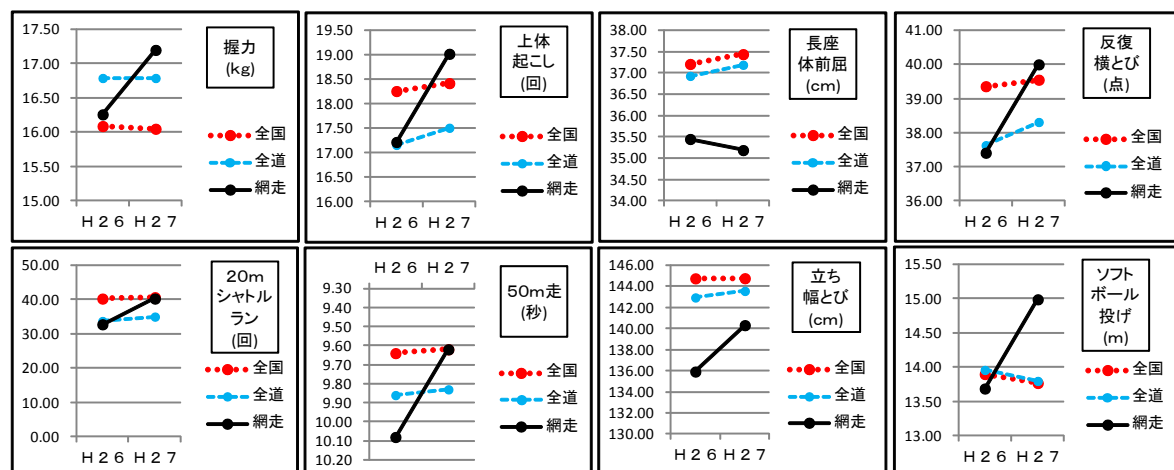
① 小学校5年生男子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)
H27全国	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.38	151.24	22.52
H27全道	17.20	19.13	32.88	40.64	46.31	9.61	150.09	23.11
H27網走	16.80	20.45	31.39	41.79	49.25	9.51	146.47	23.97
H26網走	16.65	19.13	32.41	39.96	43.91	9.85	145.08	22.68



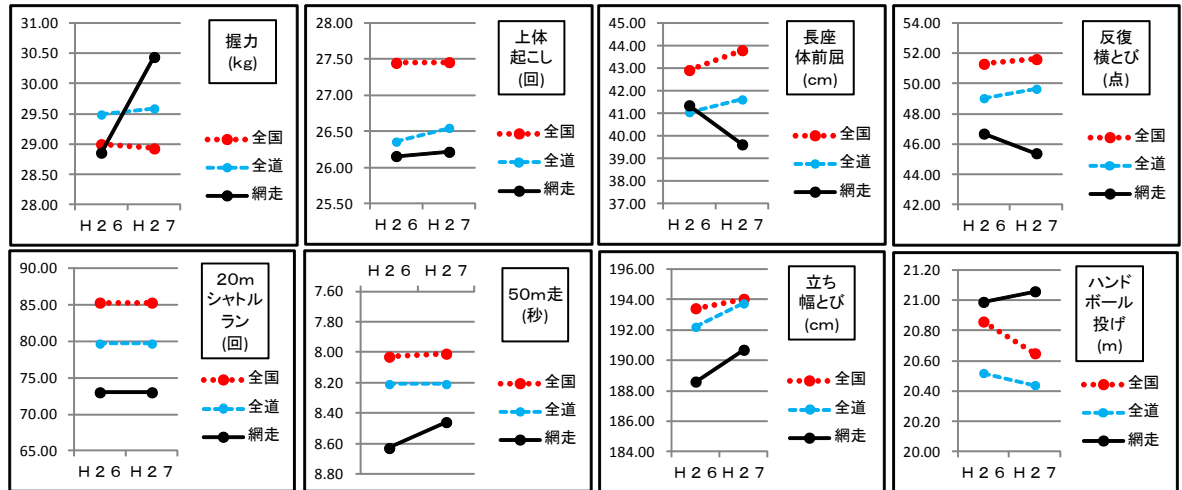
② 小学校5年生女子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)
H27全国	16.05	18.42	37.44	39.55	40.69	9.62	144.77	13.77
H27全道	16.79	17.51	37.19	38.31	35.03	9.83	143.57	13.80
H27網走	17.20	19.02	35.19	40.00	40.30	9.62	140.32	14.99
H26網走	16.26	17.22	35.45	37.41	32.80	10.08	135.92	13.69



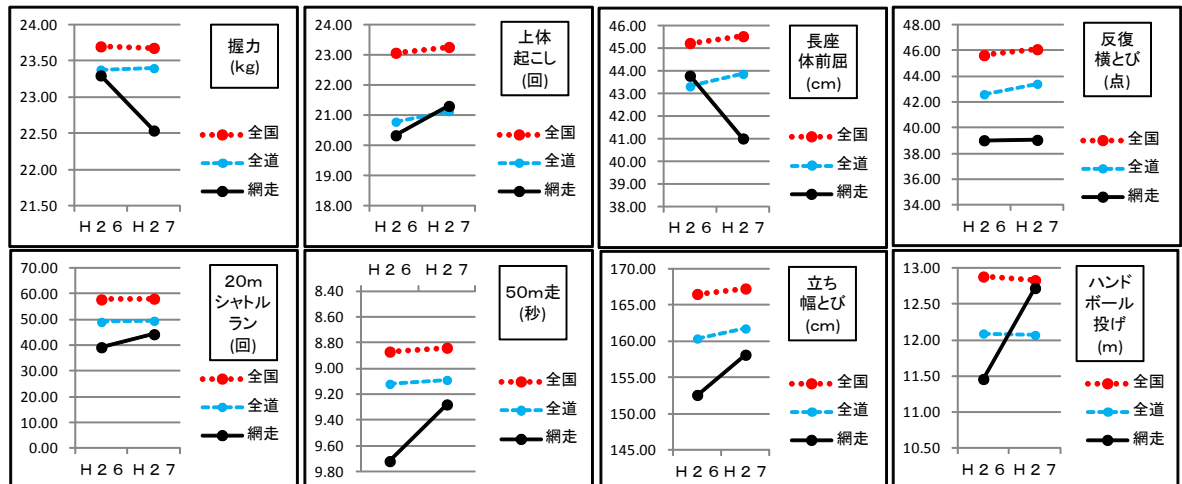
③ 中学校2年生男子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シヤトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)
H27全国	28.93	27.46	43.80	51.62	85.29	8.01	194.05	20.65
H27全道	29.59	26.55	41.62	49.66	79.68	8.21	193.75	20.44
H27網走	30.44	26.22	39.63	45.40	73.01	8.46	190.70	21.06
H26網走	28.86	26.16	41.36	46.70	73.01	8.63	188.61	20.99



④ 中学校2年生女子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シヤトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)
H27全国	23.68	23.26	45.53	46.09	58.06	8.84	167.28	12.83
H27全道	23.40	21.14	43.87	43.41	49.46	9.09	161.77	12.07
H27網走	22.54	21.31	41.02	39.06	44.26	9.28	158.16	12.72
H26網走	23.30	20.34	43.79	39.03	39.20	9.72	152.62	11.46



小学5年生男子		種目名
全国平均との比較	○上回った種目	「握力」「上体起こし」「反復横とび」「ソフトボール投げ」
	▲下回った種目	「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」
昨年度の網走平均との比較	○上回った種目	「握力」「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」
	▲下回った種目	「長座体前屈」

小学5年生女子		種目名
全国平均との比較	○上回った種目	「握力」「上体起こし」「反復横とび」「50m走」「ソフトボール投げ」
	▲下回った種目	「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」
昨年度の網走平均との比較	○上回った種目	「握力」「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」
	▲下回った種目	「長座体前屈」

中学2年生男子		種目名
全国平均との比較	○上回った種目	「握力」「ハンドボール投げ」
	▲下回った種目	「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」
昨年度の網走平均との比較	○上回った種目	「握力」「上体起こし」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」
	▲下回った種目	「長座体前屈」「反復横とび」

中学2年生女子		種目名
全国平均との比較	○上回った種目	なし
	▲下回った種目	「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」
昨年度の網走平均との比較	○上回った種目	「握力」「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」
	▲下回った種目	「長座体前屈」

◎「全国平均との比較」では、小学校の16種目中9種目で全国を上回っている。

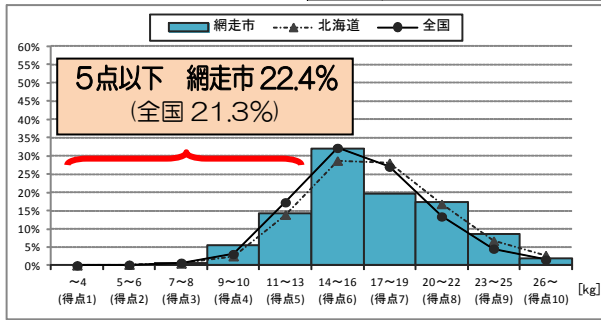
「昨年度の網走平均との比較」では、小学校中学校合わせて32種目中27種目で昨年度の平均を上回っている。

▲「全国平均との比較」では、中学校女子で全国平均を上回る種目はなかった。また、すべての学年で共通し、「長座体前屈」が全国平均を下回るとともに、昨年の結果も下回っている。

⑤ 度数分布 (小学校)

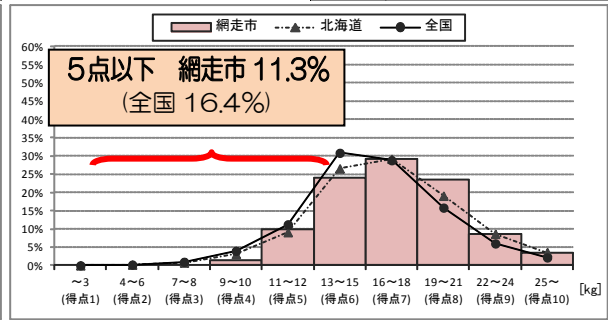
【握力】 男子

	網走市	北海道	全国
平均値	16.80	17.20	16.45



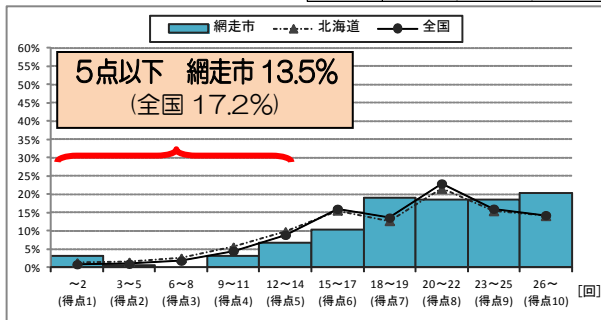
【握力】 女子

	網走市	北海道	全国
平均値	17.20	16.79	16.05



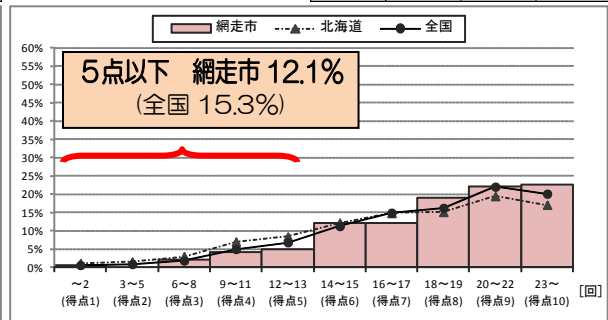
【上体起こし】 男子

	網走市	北海道	全国
平均値	20.45	19.13	19.58



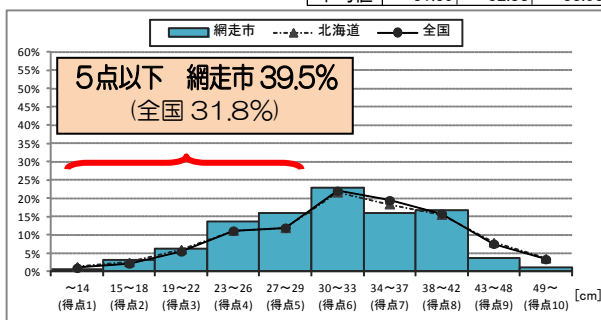
【上体起こし】 女子

	網走市	北海道	全国
平均値	19.02	17.51	18.42



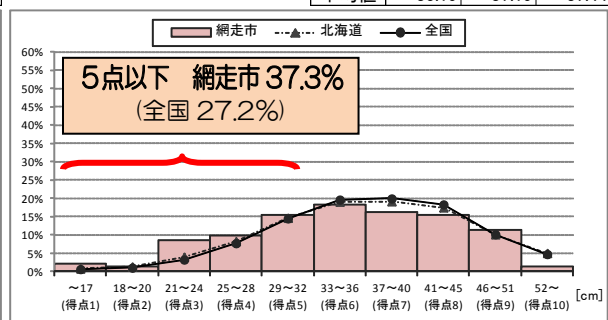
【長座体前屈】 男子

	網走市	北海道	全国
平均値	31.39	32.88	33.05



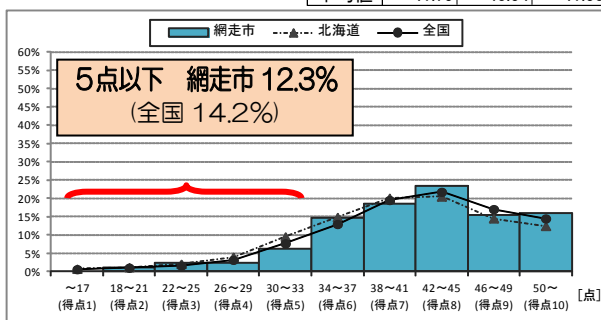
【長座体前屈】 女子

	網走市	北海道	全国
平均値	35.19	37.19	37.44



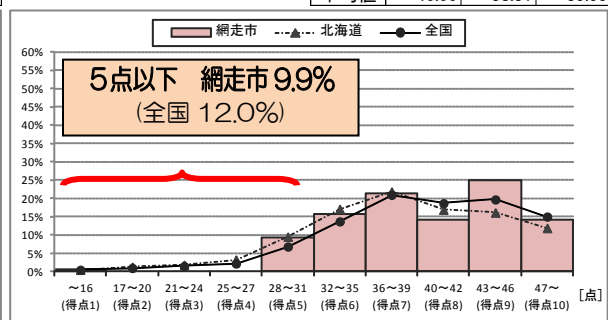
【反復横とび】 男子

	網走市	北海道	全国
平均値	41.79	40.64	41.60



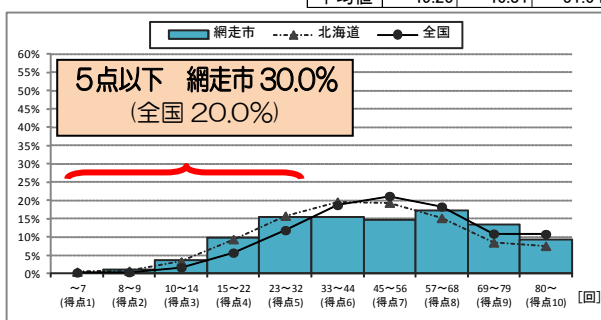
【反復横とび】 女子

	網走市	北海道	全国
平均値	40.00	38.31	39.55



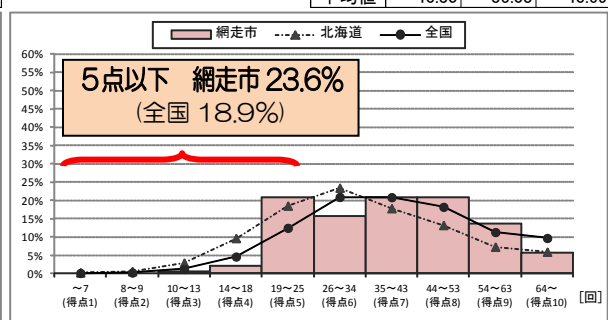
【20mシャトルラン】 男子

	網走市	北海道	全国
平均値	49.25	46.31	51.64



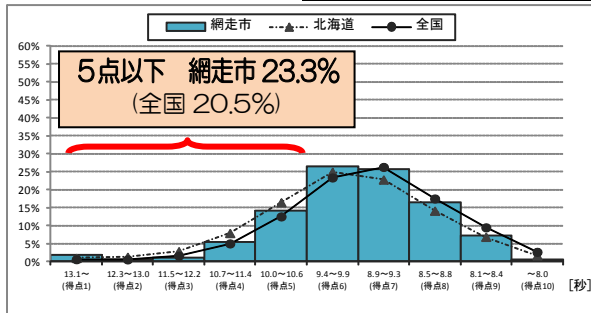
【20mシャトルラン】 女子

	網走市	北海道	全国
平均値	40.30	35.03	40.69



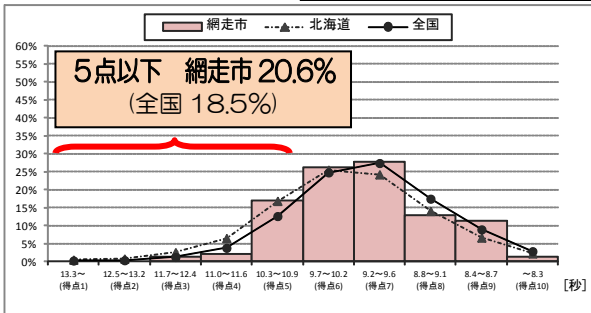
【50m走】 男子

	網走市	北海道	全国
平均値	9.51	9.61	9.38



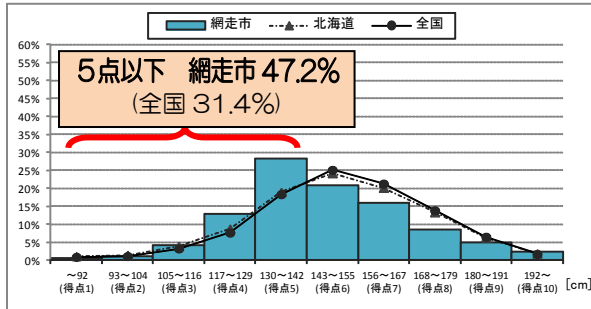
【50m走】 女子

	網走市	北海道	全国
平均値	9.62	9.83	9.62



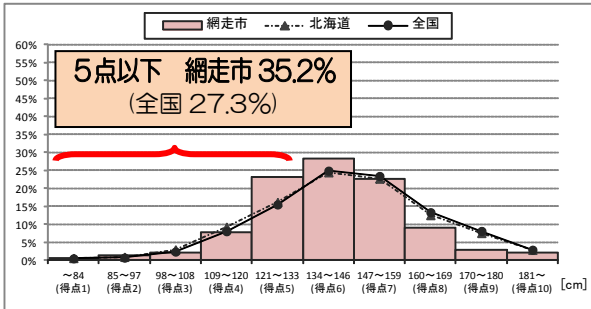
【立ち幅とび】 男子

	網走市	北海道	全国
平均値	146.47	150.09	151.24



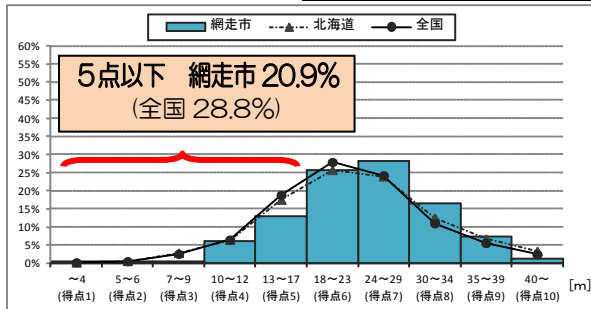
【立ち幅とび】 女子

	網走市	北海道	全国
平均値	140.32	143.57	144.77



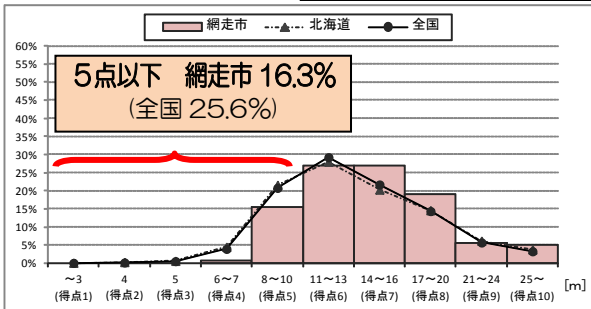
【ソフトボール投げ】 男子

	網走市	北海道	全国
平均値	23.97	23.11	22.52



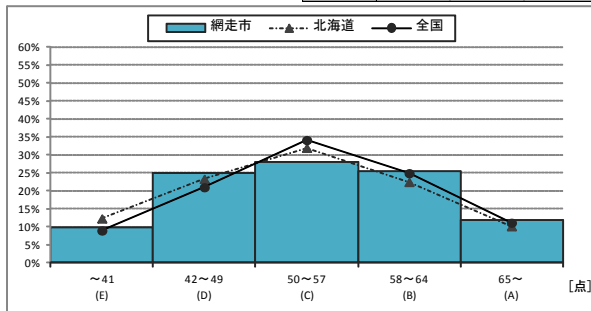
【ソフトボール投げ】 女子

	網走市	北海道	全国
平均値	14.99	13.80	13.77



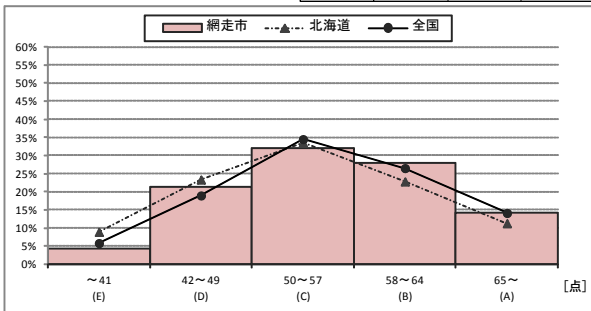
【総合評価】 男子

体力合計点	網走市	北海道	全国
平均値	53.25	52.67	53.80



【総合評価】 女子

体力合計点	網走市	北海道	全国
平均値	55.42	53.56	55.18



◎全国に比べ5点以下の割合が少ない種目

小学校女子の「握力」 小学校男女の「上体起こし」 小学校男女の「反復横とび」
小学校男女の「ソフトボール投げ」

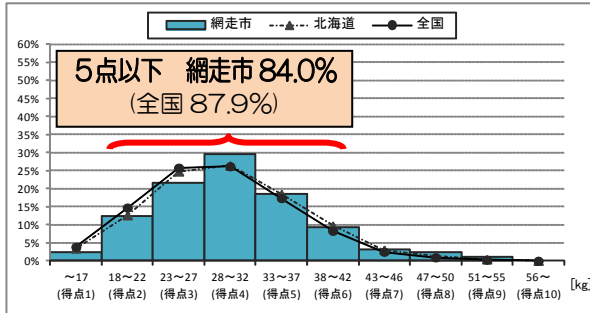
▲全国に比べ5点以下の割合が多い種目

小学校男子の「握力」 小学校男女の「長座体前屈」 小学校男女の「20mシャトルラン」
小学校男女の「50m走」 小学校男女の「立ち幅とび」

⑥ 度数分布 (中学校)

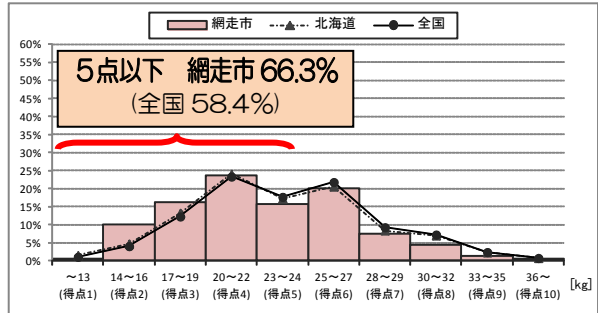
【握力】男子

	市区町村	北海道	全国
【握力】男子	30.44	29.59	28.93
【握力】男子	30.44	29.59	28.93



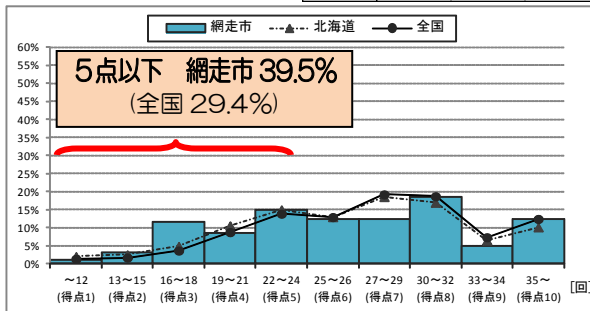
【握力】女子

	市区町村	北海道	全国
【握力】女子	22.54	23.40	23.68
【握力】女子	22.54	23.40	23.68



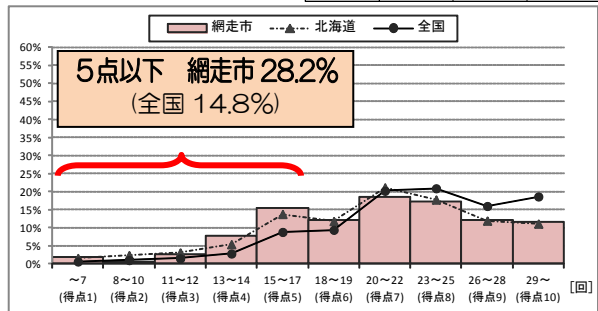
【上体起こし】男子

	市区町村	北海道	全国
【上体起こし】男子	26.22	26.55	27.43
【上体起こし】男子	26.22	26.55	27.43



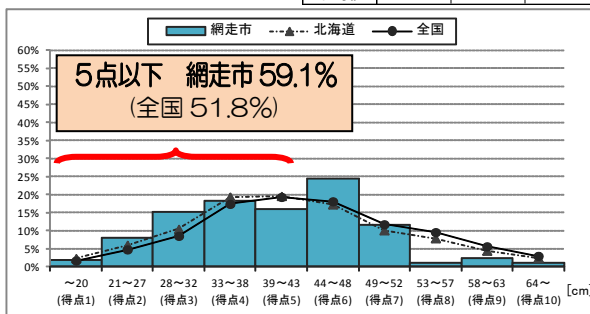
【上体起こし】女子

	市区町村	北海道	全国
【上体起こし】女子	21.31	21.14	23.26
【上体起こし】女子	21.31	21.14	23.26



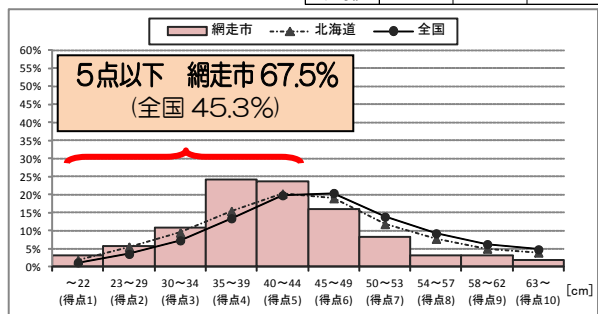
【長座体前屈】男子

	市区町村	北海道	全国
【長座体前屈】男子	39.63	41.62	43.08
【長座体前屈】男子	39.63	41.62	43.08



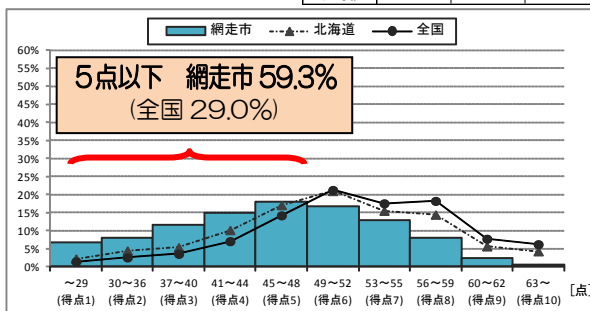
【長座体前屈】女子

	市区町村	北海道	全国
【長座体前屈】女子	41.02	43.87	45.53
【長座体前屈】女子	41.02	43.87	45.53



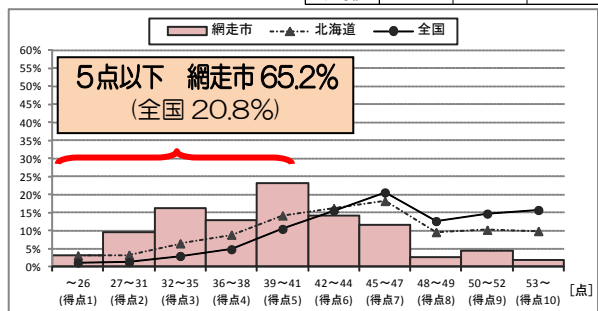
【反復横とび】男子

	市区町村	北海道	全国
【反復横とび】男子	45.40	49.66	51.62
【反復横とび】男子	45.40	49.66	51.62



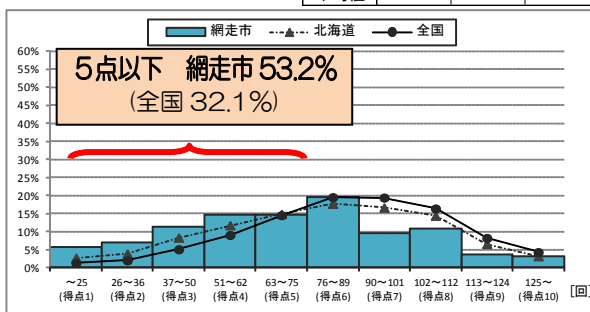
【反復横とび】女子

	市区町村	北海道	全国
【反復横とび】女子	39.06	43.41	46.09
【反復横とび】女子	39.06	43.41	46.09



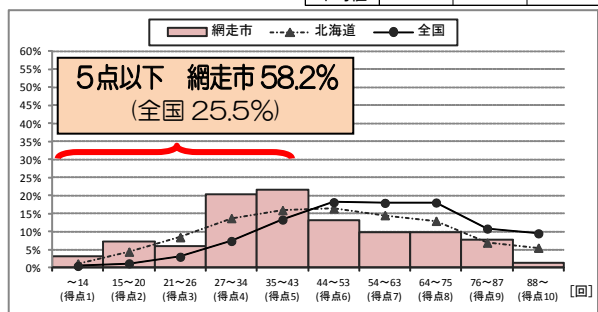
【20mシャトルラン】男子

	市区町村	北海道	全国
【20mシャトルラン】男子	72.04	79.77	85.56
【20mシャトルラン】男子	72.04	79.77	85.56



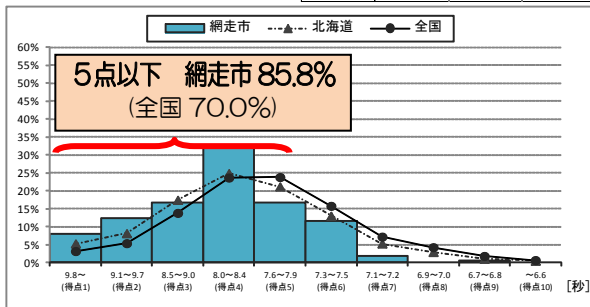
【20mシャトルラン】女子

	市区町村	北海道	全国
【20mシャトルラン】女子	44.26	49.46	58.06
【20mシャトルラン】女子	44.26	49.46	58.06



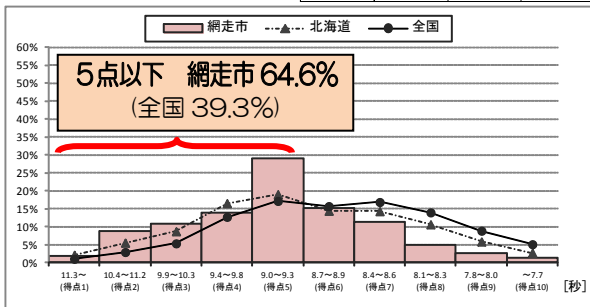
[50m走] 男子

	市区町村	北海道	全国
平均値	8.46	8.21	8.01



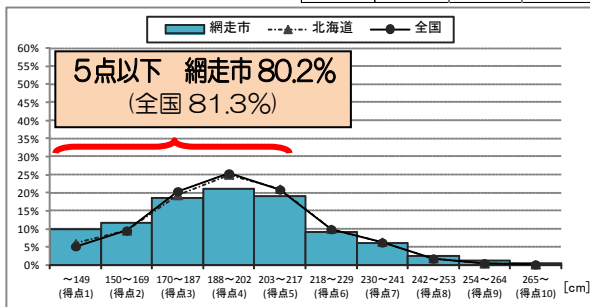
[50m走] 女子

	市区町村	北海道	全国
平均値	9.28	9.09	8.84



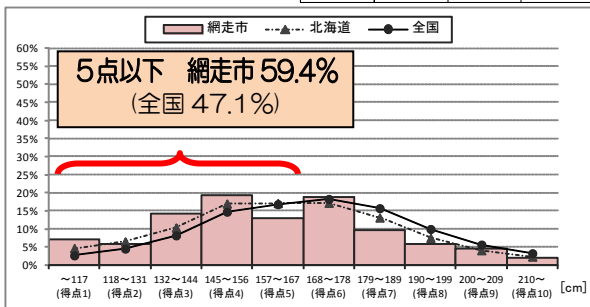
[立ち幅とび] 男子

	市区町村	北海道	全国
平均値	190.70	193.75	194.05



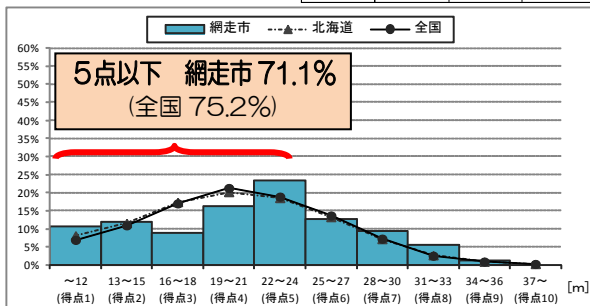
[立ち幅とび] 女子

	市区町村	北海道	全国
平均値	158.16	161.77	167.28



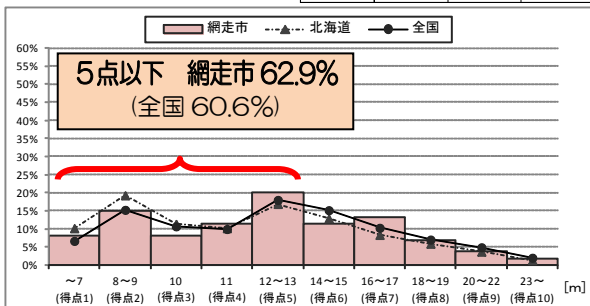
[ハンドボール投げ] 男子

	市区町村	北海道	全国
平均値	21.06	20.44	20.65



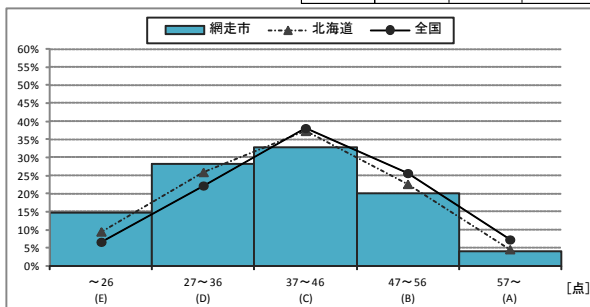
[ハンドボール投げ] 女子

	市区町村	北海道	全国
平均値	12.72	12.07	12.83



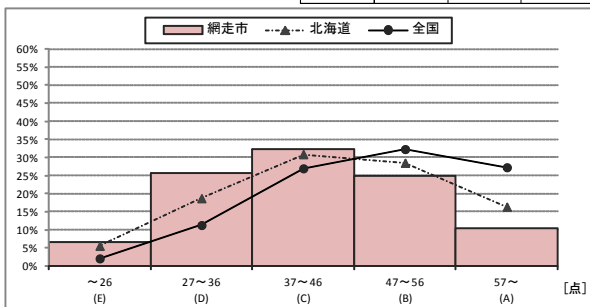
[総合評価] 男子

体力合計点	市区町村	北海道	全国
平均値	37.81	40.10	41.89



[総合評価] 女子

体力合計点	市区町村	北海道	全国
平均値	41.99	44.83	49.08



◎全国に比べ5点以下の割合が少ない種目

中学校男子の「握力」 中学校男子の「立ち幅とび」 中学校男子の「ハンドボール投げ」

▲全国に比べ5点以下の割合が多い種目

中学校女子の「握力」 中学校男女の「上体起こし」 中学校男女の「長座体前屈」
中学校男女の「反復横とび」 中学校男女の「20mシャトルラン」 中学校男女の「50m走」
中学校女子の「立ち幅とび」 中学校女子の「ハンドボール投げ」

(3) 児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査

① 運動に対する意識、運動習慣等の状況

		運動が 好き やや好き	運動やス ポーツが 得意 やや得意	運動部等に 入っている	中学校で授 業以外に自 主的に運動 したい	家の人から の積極的な 運動の すすめ	平日(月 ～金)の 運動時間 (分)	土日の 運動時間 (分)
小 5 男 子	H27全国	93.9%	83.1%	72.0%	73.6%	61.7%	63.99	141.69
	H27全道	94.4%	83.5%	66.3%	77.0%	59.1%	78.58	127.14
	H27網走	93.3%	81.5%	65.8%	76.5%	60.1%	79.19	104.83
	H26網走	96.2%	86.6%	59.6%	76.3%	52.6%	80.29	108.70
小 5 女 子	H27全国	88.0%	70.3%	50.2%	65.4%	53.3%	41.91	71.96
	H27全道	88.7%	69.8%	42.6%	67.9%	50.3%	51.24	65.30
	H27網走	88.7%	70.5%	41.8%	63.6%	44.4%	48.20	58.74
	H26網走	87.7%	70.6%	33.8%	61.4%	53.9%	41.01	49.44
		運動が 好き やや好き	運動やス ポーツが 得意 やや得意	運動部に 入っている	中学卒業後 自主的に運 動したい	家の人から の積極的な 運動の すすめ	平日(月 ～金)の 運動時間 (分)	土日の 運動時間 (分)
中 2 男 子	H27全国	89.6%	73.2%	77.6%	66.6%	51.8%	107.19	183.65
	H27全道	90.6%	73.7%	69.1%	67.5%	46.8%	103.52	153.36
	H27網走	86.4%	68.6%	69.5%	65.2%	40.7%	106.66	187.89
	H26網走	87.0%	71.1%	81.5%	65.5%	50.8%	117.45	193.60
中 2 女 子	H27全国	79.2%	55.7%	57.0%	53.2%	43.6%	78.86	130.33
	H27全道	80.1%	54.6%	47.0%	52.7%	40.8%	71.32	109.87
	H27網走	81.6%	53.4%	56.9%	47.8%	37.4%	84.92	133.41
	H26網走	77.6%	39.6%	45.6%	38.6%	43.7%	62.76	85.72

- 運動が好き、やや好き** ～ 小学校、中学校とも8割を超えている。特に中学校女子は、全国を上回っている。
- 運動が得意** ～ 小学校女子が全国をわずかであるが上回っている。また、中学校女子は、昨年に比べ13.8P高くなっている。
- 運動部に入っている** ～ 小学校、中学校とも運動部等に入っている割合は全国に比べ少ない。中学校男子は、昨年に比べ12P下回っているが、中学校女子は昨年を11.3P上回っている。
- 平日の運動時間** ～ 全国平均に比べ小学校では男女とも上回り、中学校では女子が全国を上回っている。男子も、全国と大きな差はない。中学校の女子は、昨年に比べ12分以上増えている。
- 土日の運動時間** ～ 小学校は、男女とも全国平均を下回っている。一方、中学校は、男女とも全国平均を上回っている。特に女子は、昨年と比べても50分近く運動時間が増えている。

② 体育・保健体育の授業の状況

ア、児童生徒質問紙

		体育の時間が楽しい やや楽しい	体育授業の目標が示されている	体育授業で振り返る活動を行っている	体育授業で助け合う活動を行っている	体育授業で話し合う活動を行っている	体育授業で学んだ内容は将来役に立つ
小5男子	H27全国	94.5%	82.1%	63.9%	84.5%	82.9%	84.8%
	H27全道	94.9%	78.9%	56.5%	81.4%	80.6%	83.5%
	H27網走	98.1%	79.6%	57.1%	79.1%	80.9%	90.8%
	H26網走	97.3%	77.4%	73.2%			
小5女子	H27全国	91.0%	83.0%	64.9%	88.1%	83.0%	80.7%
	H27全道	91.2%	79.2%	57.0%	85.0%	79.5%	77.4%
	H27網走	91.5%	76.4%	61.0%	83.1%	78.6%	78.0%
	H26網走	93.3%	77.3%	72.9%			
		保健体育の時間が楽しい やや楽しい	保健体育授業の目標が示されている	保健体育授業で振り返る活動を行っている	保健体育授業で助け合う活動を行っている	保健体育授業で話し合う活動を行っている	保健体育授業で学んだ内容は将来役に立つ
中2男子	H27全国	89.1%	84.5%	70.8%	82.7%	80.5%	82.9%
	H27全道	91.3%	81.3%	66.4%	79.9%	78.3%	81.1%
	H27網走	88.1%	86.4%	67.9%	82.7%	80.2%	75.9%
	H26網走	88.1%	68.3%	59.3%			
中2女子	H27全国	82.5%	82.7%	71.4%	86.6%	81.0%	75.4%
	H27全道	83.6%	79.0%	66.2%	84.3%	78.5%	71.8%
	H27網走	79.2%	93.2%	75.9%	87.7%	79.0%	71.7%
	H26網走	74.0%	80.0%	56.3%			

イ、学校質問紙

		体育の授業の目標をいつも児童に示す活動を取り入れている	体育授業で学習したことを振り返る活動を取り入れている	体育授業で児童同士が助け合い、役割を果たす活動を取り入れている	体育授業で児童同士で話し合う活動を取り入れている
小学校	H27全国	37.2%(95.7%)	24.2%(87.4%)	31.3%(95.8)	14.2%(78.7%)
	H27全道	41.2%(97.3%)	27.5%(89.6%)	31.5%(96.4%)	12.9%(78.0%)
	H27網走	22.2%(100%)	22.2%(77.8%)	11.1%(100%)	11.1%(66.7%)
中学校	H27全国	55.0%(98.3%)	41.3%(94.4%)	40.1%(96.6%)	20.4%(82.1%)
	H27全道	52.2%(98.1%)	38.7%(93.2%)	38.4%(96.4%)	17.7%(81.3%)
	H27網走	33.3%(83.3%)	0%(83.3%)	16.7%(100%)	0%(83.3%)

(カッコ内は、「だいたい取り入れている」という回答を含む)

- 目標を示す活動 ～ 小学校で7割以上の児童、中学校で8割以上の生徒が、目標が示されていると児童生徒が認識している。学校質問紙と大きな差はない。
- 振り返る活動 ～ 小学校で6割程度の児童、中学校で7割程度の生徒が振り返る活動が行われていると児童生徒が認識している。学校質問紙と1割程度の開きが見られる。
- 助け合う活動 ～ 小中学校とも8割程度の児童生徒が助け合う活動が行われていると認識している。学校質問紙では、全ての学校で行われていることとなっている。
- 話し合う活動 ～ 小中学校とも8割程度の児童生徒が話し合う活動が行われていると認識している。学校質問紙では、小学校では7割弱、中学校で8割の学校で行っていることとなっている。

ウ、できないことができるようになったきっかけ（児童生徒質問紙）

		授業中先生に個別にコツやポイントも教えてもらった	授業中自分で工夫した	自分や友達に教えた	先生や友達に教えてもらった	友達に教えてもらった	動きをビデオで見た	授業中に自分で動いた	授業外で先生に教えた	練習外で自分で動いた	本やビデオで見えた	授業外で自分で動いた	できなかったようになる
小5男子	H27全国	52.5%	43.2%	17.4%	55.2%	55.3%	7.4%	13.4%	38.1%	19.2%	3.0%		
	H27全道	53.1%	43.8%	17.0%	55.9%	51.6%	8.8%	13.6%	43.0%	19.7%	3.3%		
	H27網走	58.9%	46.6%	14.1%	56.4%	47.9%	12.9%	13.5%	37.4%	14.1%	3.7%		
	H26網走	54.7%	29.2%		47.2%	36.6%	1.2%	6.2%	29.8%	5.0%	3.1%		
小5女子	H27全国	52.3%	40.9%	15.9%	64.9%	70.4%	5.9%	12.6%	48.1%	14.9%	1.6%		
	H27全道	52.8%	39.7%	15.4%	65.4%	67.1%	7.3%	12.4%	53.9%	15.2%	1.9%		
	H27網走	55.2%	36.4%	10.5%	61.5%	65.0%	6.3%	7.7%	49.0%	9.1%	1.4%		
	H26網走	48.7%	26.3%		44.2%	47.4%	1.3%	11.5%	46.2%	0.6%	3.8%		
中2男子	H27全国	46.0%	40.0%	8.5%	46.6%	49.4%	4.7%	5.2%	14.6%	6.7%	5.4%		
	H27全道	45.6%	41.8%	8.6%	47.2%	46.4%	6.7%	4.8%	16.9%	7.1%	6.4%		
	H27網走	50.6%	43.3%	6.1%	48.8%	44.5%	1.8%	4.3%	15.9%	5.5%	7.9%		
	H26網走	37.6%	36.0%		38.2%	39.3%	0.0%	0.6%	10.7%	4.5%	12.4%		
中2女子	H27全国	50.9%	34.3%	8.1%	55.3%	69.0%	5.2%	5.2%	16.9%	4.8%	3.7%		
	H27全道	50.8%	34.8%	8.1%	54.9%	65.2%	6.4%	4.3%	19.4%	4.9%	4.8%		
	H27網走	61.1%	28.1%	7.2%	50.9%	65.9%	1.2%	3.0%	12.0%	6.6%	4.8%		
	H26網走	36.0%	25.0%		46.3%	59.6%	0.7%	0.7%	9.6%	2.9%	9.6%		

エ、体育授業で努力を要する児童生徒に対する取組（学校質問紙）

小学校	授業中、コツやポイントを重点的に教える	授業中、児童自ら工夫させる	児童に合った場やルールでの提示	児童に合った運動課題の段階的な準備	教員や友達のまねを促す	友達同士で教え合いを促す	授業中に自分の動きを映像で見る	授業外に教える	授業外の自主練習を促す	授業外に本や映像を見られるようにする
H27全国	80.7%	18.9%	60.0%	63.1%	45.7%	72.2%	11.0%	13.3%	15.7%	4.5%
H27全道	85.8%	24.7%	48.9%	66.7%	45.6%	64.9%	9.6%	11.8%	19.9%	3.5%
H27網走	88.9%	66.7%	66.7%	77.8%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	11.1%
中学校	授業中、コツやポイントを重点的に教える	授業中、児童自ら工夫させる	生徒に合った場やルールでの提示	生徒に合った運動課題の段階的な準備	教員や友達のまねを促す	友達同士で教え合いを促す	授業中に自分の動きを映像で見る	授業外に教える	授業外の自主練習を促す	授業外に本や映像を見られるようにする
H27全国	79.0%	19.1%	59.1%	66.6%	34.1%	71.5%	17.9%	3.9%	4.0%	1.5%
H27全道	81.4%	23.9%	53.9%	71.1%	37.9%	63.3%	26.4%	2.1%	3.6%	1.1%
H27網走	100.0%	33.3%	33.3%	50.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%

■できないことができるようになったきっかけ

全ての学年において「授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」、「先生や友達のまねをした」、「友達に教えてもらった」ことによってできるようになった児童生徒の割合が高い。昨年に比べほとんどの項目で割合が増え、特に中学校においては、「授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」ことにより、できるようになったという生徒が増えている。

■体育授業で努力を要する児童生徒に対する取組

学校の取組においても、「コツやポイントを重点的に教える」が最も多く小学校中学校で最も多い。その他、「運動課題の段階的な準備」「友だち同士で教え合いを促す」が多い。

オ、生活習慣（児童生徒質問紙）

		朝食を毎日食べる	ほぼ決まった時間に寝る	平日、3時間以上テレビ・ビデオを視聴する	平日、3時間以上ゲームをする	平日、3時間以上携帯電話やスマートフォンを使用する
小5男子	H27全国	85.3%	60.8%	33.5%	22.3%	7.2%
	H27全道	81.5%	59.6%	36.8%	27.0%	8.8%
	H27網走	79.1%	50.3%	33.3%	28.6%	9.4%
小5女子	H27全国	85.8%	66.7%	30.1%	9.3%	4.1%
	H27全道	81.8%	66.2%	34.9%	12.4%	5.5%
	H27網走	82.4%	68.8%	33.1%	10.6%	2.8%
中2男子	H27全国	83.2%	62.9%	27.0%	24.1%	13.0%
	H27全道	80.0%	61.3%	29.2%	29.4%	16.7%
	H27網走	71.0%	60.4%	31.5%	28.8%	15.7%
中2女子	H27全国	80.6%	60.4%	28.3%	16.0%	20.0%
	H27全道	77.0%	59.4%	21.2%	18.9%	25.1%
	H27網走	69.3%	53.4%	28.4%	14.2%	29.4%

■ 朝食を毎日食べる

小学校、中学校とも全国平均を下回っており、毎日朝ごはんを食べていない児童生徒が全国に比べ多い。特に中学校は男女とも7割ほどで、全国平均を大きく下回り、およそ3人に1人が朝食を欠食することがある。

■ ほぼ決まった時間に寝る

小学校男子、中学校女子が全国に比べ、ほぼ決まった時間に寝る児童生徒は少ない。小学校女子は、全国平均を上回り、ほぼ決まった時間に寝る児童が多い。

■ 平日、3時間以上テレビ・ビデオを視聴する

小学校男女、中学校男子は3割を超え、中学校女子は3割弱である。

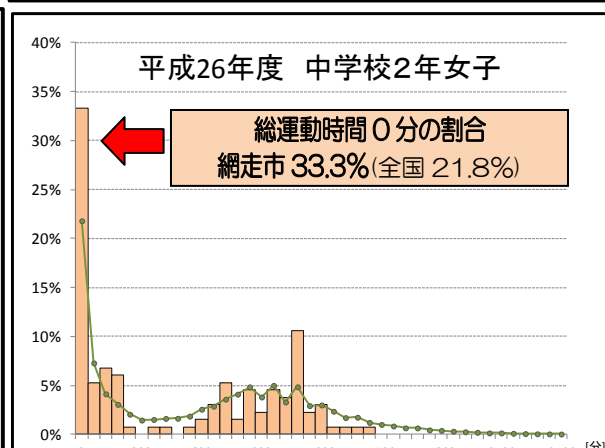
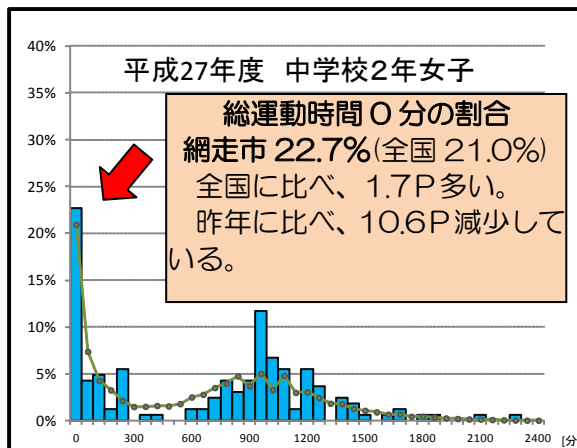
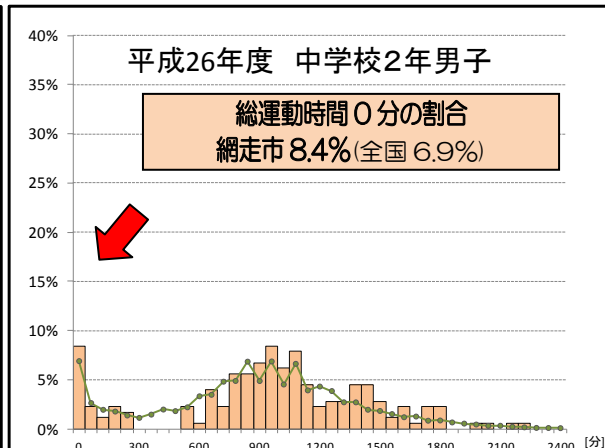
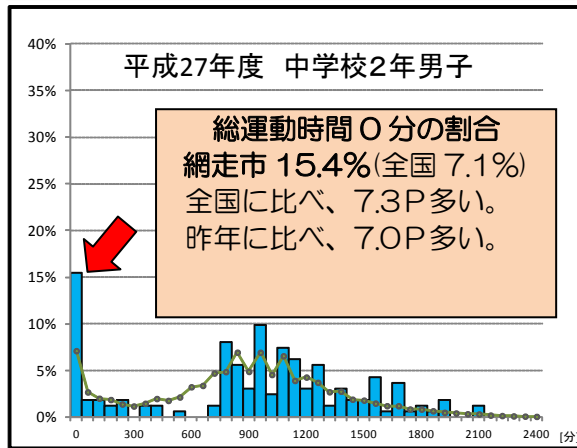
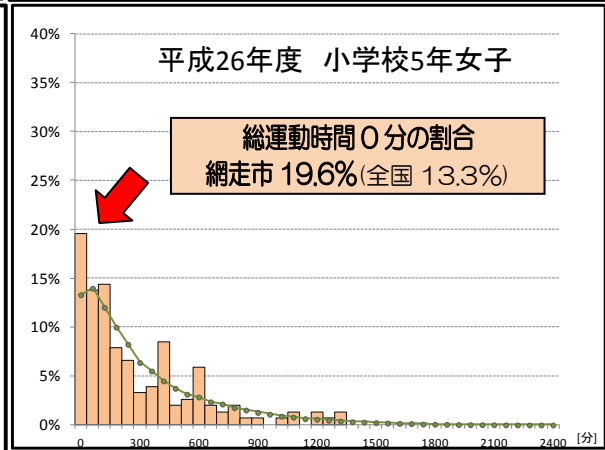
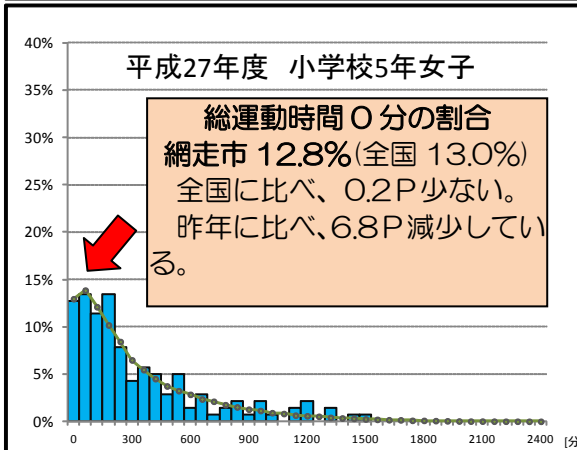
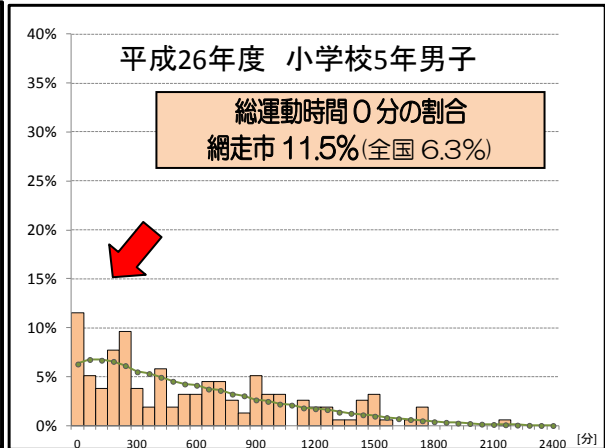
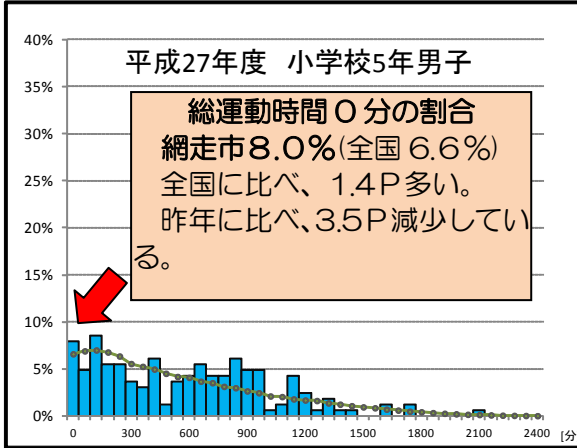
■ 平日、3時間以上ゲームをする

小学校男子、中学校男子で3割近くが平日3時間以上ゲームをしている。小学校女子、中学校女子は、1割程度で、男子に比べゲームをしている時間は少ない。

■ 平日、3時間以上携帯電話やスマートフォンを使用する

中学校女子は3割近くの生徒が、3時間以上携帯電話やスマートフォンを使用しており、全国も大きく上回っている。小学校では、男女とも3時間以上使用する児童は、1割未満である。中学校男子は、全国よりも多いが中学校女子の半分程度である。

③ 1週間の総運動時間の分布 (四角内の数字は、総運動時間0分の割合)



④ 学校の取組（学校質問紙調査）

小学校	体力・運動能力向上の目標設定を行っている	体力・運動能力向上に係る取組を行っている	学校外の運動状況の把握を行っている	体育授業の工夫改善を行っている	体育授業以外に運動時間を確保している	生活習慣を改善する取組を行っている
H27全国	62.8%	89.3%	91.9%	94.7%	95.2%	94.9%
H27全道	67.4%	90.7%	97.7%	97.9%	97.8%	97.7%
H27網走	77.8%	100.0%	100.0%	100.0%	88.9%	100.0%

中学校	体力・運動能力向上の目標設定を行っている	体力・運動能力向上に係る取組を行っている	学校外の運動状況の把握を行っている	保健体育授業の工夫改善を行っている	保健体育授業以外に運動時間を確保している	生活習慣を改善する取組を行っている
H27全国	54.3%	63.7%	97.5%	98.7%	96.0%	95.2%
H27全道	59.4%	74.8%	99.2%	99.5%	99.3%	98.4%
H27網走	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■ 学校における体力向上の取組

本調査の質問項目にある体力向上の取組については、小学校、中学校ともほとんどの項目で全国平均を上回っている。

⑤ 家庭へ体力向上に係る説明・呼びかけ（学校質問紙調査）

小学校	家庭へ体力向上に係る説明・呼びかけを行っている	説明・呼びかけの具体的な内容（複数回答）			
		1.家の人と運動する機会の設定	2.運動啓発の資料配布・HPでの呼びかけ	3.地域スポーツ行事への参加を啓発	4.生活習慣を整えるための働きかけ
H27全国	97.0%	24.8%	39.4%	38.0%	81.9%
H27全道	99.8%	23.9%	48.7%	51.4%	87.4%
H27網走	100.0%	55.6%	88.9%	66.7%	100.0%

中学校	家庭へ体力向上に係る説明・呼びかけを行っている	説明・呼びかけの具体的な内容（複数回答）			
		1.家の人と運動する機会の設定	2.運動啓発の資料配布・HPでの呼びかけ	3.地域スポーツ行事への参加を啓発	4.生活習慣を整えるための働きかけ
H27全国	96.7%	16.7%	34.2%	34.7%	70.0%
H27全道	99.1%	19.4%	41.9%	42.2%	81.0%
H27網走	100.0%	16.7%	66.7%	50.0%	83.3%

■ 家庭へ体力向上に係る説明・呼びかけ

小学校、中学校全ての学校で「体力向上に係る説明や呼びかけ」を行っている。
「生活習慣を整えるための働きかけ」は全ての小学校で行われており、中学校でも 5 校で行われている。

3. 調査における特徴と改善に向けた方策

【実技調査の結果から】

- ▲小学校、中学校とも「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」が全国を下回る。
- 小学校男子においては4種目で全国平均を上回り、昨年度との比較では、「長座体前屈」を除き、7種目で改善が見られた。
- 小学校女子においては、5種目で全国平均を上回り、昨年度との比較では、「長座体前屈」を除き、7種目で改善が見られた。
- 中学校男子においては、2種目で全国平均を上回った。昨年度との比較では、「長座体前屈」「反復横とび」を除き、6種目で改善が見られた。
- 中学校女子においては、全ての種目で全国平均に達しなかったが、「長座体前屈」を除き7種目で改善が見られた。

【児童生徒質問紙調査から】

- ▲小学校、中学校とも「運動部やスポーツクラブに入っている児童、生徒の割合」が少ない。
- ▲「家の人からの積極的な運動のすすめ」は、小学校、中学校とも、全国に比べ少ない。
- ▲小学校において、「体育の授業の目標設定」「体育の授業のふりかえり」が全国をやや下回る。
- できないことができるようになったきっかけとして、「授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」、「先生や友達のまねをした」、「友達に教えてもらった」と回答した児童生徒の割合が多い。
- ▲生活習慣においては、朝食、テレビ、ビデオ、ゲーム、携帯電話やスマートフォンの使用時間など課題が多い。

【学校質問紙調査から】

- ▲「体育の授業の目標をいつも示す」、「体育の授業でふりかえりをいつも取り入れる」割合は、全国に比べ少ない。
- 体育授業で努力を要する児童生徒に対する取組として「コツやポイントを重点的に教える」、「運動課題の段階的な準備」、「友だち同士で教え合いを促す」などの取組が行われている。
- ▲中学校においては、タブレットPCを全ての学校に整備しているが、授業中に自分の動きを映像で見せる取組としてあまり活用されていない。
- 全ての小学校、中学校で「体力向上に係る説明や呼びかけ」を行っており、「生活習慣を整えるための働きかけ」はほとんどの小学校、中学校で行われている。

■■■改善に向けたポイント■■■

◆体育・保健体育の授業の充実

- 「楽しかった」「できるようになった」が味わえるようにする手立ての工夫
 - ・課題、目指したい目標、取り組む事例、振り返りが明確であり、頑張った成果が実感できる学習カードを活用する。
 - ・タブレットPC等ICT機器を活用することにより、自分の動きを確認したり、互いに教え合う活動を取り入れたりする。
 - ・「友達に教えてもらった」「先生や友達のまねをした」ことにより、できるようになった児童生徒が多いことから、友達同士で教え合うこと、先生や子ども同志でお手本を示すなど授業において場面を設定する。
 - ・地域支援本部事業による外部講師の活用、中学校体育教員による小学校体育での指導、体育専科の配置などにより専門的な指導を行う。

○PDCAサイクルを意識した学習（「目標」と「振り返り」の設定）

- ・Plan～ 目標を設定し、授業の進め方をデザインする
- ・Do～ 明確な目標に向けた適正な指導をする
- ・Check～ 子どもたちの実現状況を授業中の見とりや振り返り等からとらえ、指導したことを確認する。
- ・Action～ 指導したことを見直し次の授業に生かす

○運動時間の確保

- ・1単位時間の中に、体を動かす場面をたくさん設定することにより、運動時間を最大限確保する。
- ・縄とびや体づくり運動など、授業初めの時間を使い、継続した取組を行う。
- ・跳び箱やマット、ボールなど、より多くの子が運動できるよう運動器具の準備をする。

◆新体力テスト実施の工夫

○記録用紙を工夫する。

- ・小学校から中学校まで9年間の成長が実感できるような記録用紙にする。
- ・「自ら進んでやる」動機づけとし、自分の目標を位置付ける。
(種目ごとの記録、点数、前年度の全国平均記録など)

○新体力テストの結果を生かす。

- ・新体力テストの実施方法や全国の記録、学校平均などを掲示する。
- ・全国と比較し、下回っている種目を体づくり運動として、継続し取組む。

○実施方法を工夫する。

- ・上の学年の児童、生徒がお手本を示す、計測を手伝うなど、新体力テストの実施方法を工夫する。
- ・正確な実施のため、実施方法について全教職員でマニュアルを確認するとともに、複数の教職員により調査を実施する。

◆部活動の充実

○部活動（運動系部活だけでなく文科系部活も含む）への加入率100%を目指す。

○運動系部活だけでなく文科系部活も含め、共通した体力向上プログラムを設定する。（5分間走、縄とび、ストレッチ運動など）

○運動がきらい・苦手な生徒も楽しく参加できる「運動系部活」を設ける。

○活動の目標を設定する、学校行事や地域行事の中で披露するなど、生徒の意欲向上を図る。

◆家庭や地域との連携

○PTA主催の親子スポーツ大会、親子レクレーションを開催する。

○夏季休業中に行われる町内会、子ども会主催のラジオ体操や盆踊りに参加する。

○家庭での生活習慣確立のために、家庭学習の習慣化やテレビ・ゲームの時間の見直しなど、「生活リズムチェックシート」の積極的な活用を図る。

○土曜日に無料で利用できる体育施設（総合体育館、網走市民健康プール、スキー場など）の積極的な利用を呼び掛ける。

○スポーツ少年団の活動を紹介するとともに、加入の促進を図る。

◆1校1実践の取組の充実

○平成27年度1校1実践の取組と成果

学校名	取組の内容	取組の成果
網走小学校	網走市が推奨するタグラグビーへの取組	○放課後や休日の運動量が少ない児童の体力向上が図られるとともに、運動の楽しさと喜びを実感させることができた。 ○教育長杯に6チーム49名が参加し、準優勝、3位(2チーム) ○全国小学生大会北見支部予選に6チーム51名が参加し、優勝、準優勝
	体育専科による授業改善の取組	○体力・運動能力調査(5学年)で男女共に全種目で全国平均を上回った。 ○専科教員を講師とした研修を実施することで、専科を配置していない学年においても授業改善(目標の明確化、運動量、安全の確保)が図られた。
中央小学校	マラソン なわとび	○マラソンは走力・持久力の向上、なわとびは冬季屋内での体力づくりに有効である。
西小学校	業間体育の実施 ・5月～9月 マラソン ・10月～3月 縄跳び 児童会体育委員会主催のスポーツ集会の実施 体育専科による授業改善	○通年で持久力が身につく種目に取り組んだ。個人の目標を明確にし、記録カードを活用することで、運動に対する関心が高まり、熱心に励む姿がみられた。 ○児童が主体となって集会を開催、実施することで楽しみながら体を動かそうとする意欲が高まった。 ○体育専科による通信の発行を通し、指導方法の研修・実践交流を行う。また体育専科の指導の際は必ず担任もT2として授業を行うことで、実践を通じた授業改善を行うことが出来た。
	「体力づくりコーナー」の新設	○体育館に立ち幅跳びやラダートレーニング等が常時できる場所をつくった。休み時間や放課後にそれらに挑戦する児童の姿が多く見られるようになった。
南小学校	継続した「なわとび運動」の推進 ◆なわとび …毎授業5分間 ◆なわとびデー …週1回業間 ◆なわとび認定週間の設定 【児童委員会の取り組み】 ◆大縄跳び大会(3～6年)…年2回業間	○なわとび運動は、運動強度の高い全身運動であり、調整力や持久力を高めるのに適している。個人や集団など多様な人数で跳べるほか、様々な技があり楽しさがある。教え合いや励まし合い、息を合わせるといった他とかかわり合って学ぶことができる。 ○連続して跳べる回数や時間、跳べるようになった技の獲得など進歩を実感させ、子どもが自らの体力を見直す機会を設定することで、体力向上の意欲を高めることができています。
潮見小学校	児童会体力向上運動	○学校全体で取り組むことにより、児童の運動に対する参加意欲が向上した。
東小学校	短なわとび	○学校で設定している短なわとび大会に向けて、体育の授業の最初になわとびを取り入れるなど、長いスパンでの取り組みが可能となっている。また、なわとびカードを使い、級を設けることで、子どもたちの意欲付けともなり、持久力、調整力の向上につながっている。なお、結果は「どさん子元気アップチャレンジ」に登録している。
白鳥台小学校	体づくりの運動の充実による柔軟性の強化(指導過程に柔軟体操を位置付ける)	○指導過程に柔軟体操を位置付け、継続した取組により、長座体前屈については、経年変化で見ると、全ての学年が全国平均を上回っている。体のやわらかさを高めるための運動例を集め、それを授業時間に活用してきたことが成果となって表れてきた。
	児童の運動量を保障する授業展開(体づくり運動において、ボール投げにつながるフォーム練習を継続して取り入れる)	○放課後等の遊びでソフトボールを使った遊びを取り入れる等、日常的にボールを投げて遊ぶ等の取組・経験を増やしている。

学校名	取組の内容	取組の成果
西が丘小学校	<p>体力アップコーナーの設置 校内に体力テスト種目に挑戦できるコーナーを設置し、休み時間等に取り組む</p> <p>マラソン記録カード マラソン記録カードを活用し、個人目標のもと日常的にマラソンに取り組む</p> <p>なわとびチャレンジ 毎週水曜日の西が丘タイムを縄跳びチャレンジの時間とし、なわとび級表を活用し、ここの目標に向かって取り組む</p>	<p>○体力テストに向け、各種目のやり方に慣れると共に、体力テスト後も、自己記録更新に向け児童が取り組む姿が見られる。体力テストにおける反復横跳びの平均値が向上している。</p> <p>○マラソン大会後も11月まで個々の記録に挑戦し、持久力の向上につながっている。</p> <p>○冬季の体力づくりとして、週に一回どの子も必ず体を動かす週間ができてきた。チャレンジの日以外でもホール等で縄跳びに取り組む児童が増えている。</p>
呼人小学校	徒歩通学	○校区が広く、移動手段を日常的に自家用車に依存しているため、都市部に比べ、歩く機会が少ない現状にあったが、「徒歩通学」の取組により、75%の児童が徒歩通学(自転車通学)をしており、1日あたり30分程度の運動量を確保することができた。
第一中学校	昼休みの体育館使用の奨励とグラウンド開放	○昼休みの運動については、全校生徒が積極的に取り組めた。
第二中学校	徒歩通学、自転車登校の励行	○市民駅伝大会に全校生徒の三分の一が参加するなど、体を動かすことに対する意識は高まりつつある。
第三中学校	授業の始めにサーキットトレーニングを行う。	○スピードと持久力を養う一助となった。
第四中学校	持久走(部活動・地域行事の機会も活用する)	○“反復横とび”と“50m走”で若干の向上が見られた
第五中学校	生徒会による昼休みの運動遊びの活動	○本活動を、生徒自ら「体力向上・運動習慣の定着」のためという認識で行っているため、課題意識が深められている。
呼人中学校	徒歩通学・自力登下校宣言	○校区が広く、移動手段を日常的に自家用車に依存しているため、都市部に比べ、歩く機会が少ない現状にあったが、「徒歩通学・自力登下校宣言」の取組により、78%の生徒が徒歩通学(自転車通学)をしており、1日あたり30分程度の運動量を確保することができた。

■ 網走市 体力向上の方策 ■

- (1) 心身ともに健康な子どもを育成するために、保護者、地域とともに、「早寝・早起き・朝ごはん」など望ましい生活習慣の定着、運動に慣れ親しむ機会を作るなど体力向上の取組を推進します。また、網走市PTA連合会と連携し、講演会、研修会を開催します。
- (2) 運動が苦手な児童でも気軽に始められるタグラグビーを小学校の教育課程に設定し、スポーツ合宿団体によるタグラグビー教室や教育長杯タグラグビー大会を開催します。
- (3) オホーツク網走マラソンなど各種スポーツ大会への参加促進を図ります。また、スキーやスケート、歩くスキーなど冬期間のスポーツを奨励します。
- (4) スポーツ少年団等への加入促進、部活動への加入促進をはかります。
- (5) 徒歩通学を奨励するとともに、1校1実践の取組の充実を図り、1週間の総運動時間を増やします。
- (6) 体育・保健体育の授業の充実を図るため、学ぶ意欲を高めるタブレット型端末や子どもにより分かりやすく伝える実物投影機など、ICT機器活用をより一層促進します。
- (7) 新体力テスト実施に向け、新体力テスト指導研修会を開催します。
- (8) 日本体育大学と連携し、体育・保健体育授業支援を行います。